

公共工事執行の円滑化について

九州地方整備局

現
状

大幅な公共工事の削減

入札・契約制度の激変

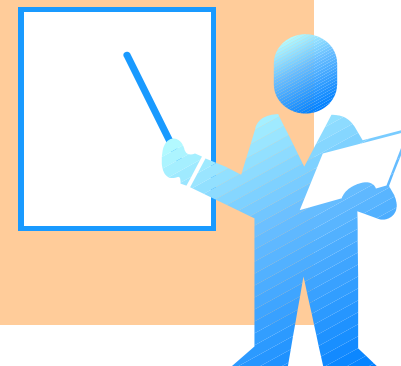
建設業者

- ・厳しい経営環境(利益がない、人材が育たない)
- ・工事設計書条件が不明確で手待ち多い、工期がタイト
- ・工事関係提出書類が多い

課
題

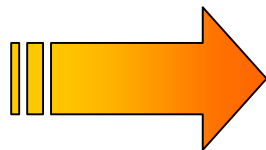
地域住民への影響

公共事業への批判



目指す方向 ~いきいき現場づくり~

- ・同一目標に向けた共通認識
- ・相互の理解と信頼



- ・早期の工事完成
- ・住民へのサービス向上
- ・安全な施工で良質な品質確保

いきいき現場づくり

住民

すばやい対応で信頼の構築

- ・便利になってよかった
- ・公共工事へのイメージが変わった



適切な対応で資質の向上

- ・品確法に基づく発注者の役割の発揮
- ・報、連、相による素早い対応



企業運営に活路

- ・発注者と一体となってよい仕事が出来た
- ・地域住民の方々にも喜んでもらった
- ・安定した経営環境



~ 三方良し ~

発注者

業者

・発注者と業者との信頼関係の構築

・発注者の責務(適切な施工条件の明示・早急な回答)を果たす

・業者の責務(適切な工程管理・品質管理・施工管理)を果たす



その実現のために ~発注者と業者の責務~

発注者の責務として

工事設計書作成において

詳細設計において、工事設計条件項目表の提出

施工条件明示の徹底

- ・詳細設計の施工条件内容の活用、チェックリストの活用
- ・施工現場からのチェック

工事設計書の申し送り

- ・発注担当(課)と監督職員との情報共有

日常での情報共有において

情報の共有及び技術向上

- ・工事品質管理官及び出監連(代表)との意見交換の定期開催(1回程度/月)

業者の責務として

施工段階において

業者の適切な工程管理

- ・適切な施工計画、工程管理等
- 生産性、品質の向上

その実現のために ~発注者と業者の共通認識~

発注者と業者の共通認識の為に

工事発注後施工前において

工事監理連絡会の全面展開

- ・発注者(事務所担当課と監督職員)、業者、コンサル(詳細設計)
3者での工事設計内容及び条件の情報共有

施工段階において

ワンデイレスポンスの運用

- ・監督職員(及び事務所担当課)と業者での報・連・相
(現場を待たせない。速やかに対応。)

施工プロセスチェックを通じた検査の試行

- ・施工プロセスを通じた検査の枠組みへの転換、体制強化
(チェックの強化、検査頻度の増加、部分払い方式の活用)

工事書類の簡素化

- ・電子メールの活用、提出資料の見直し(簡素化)

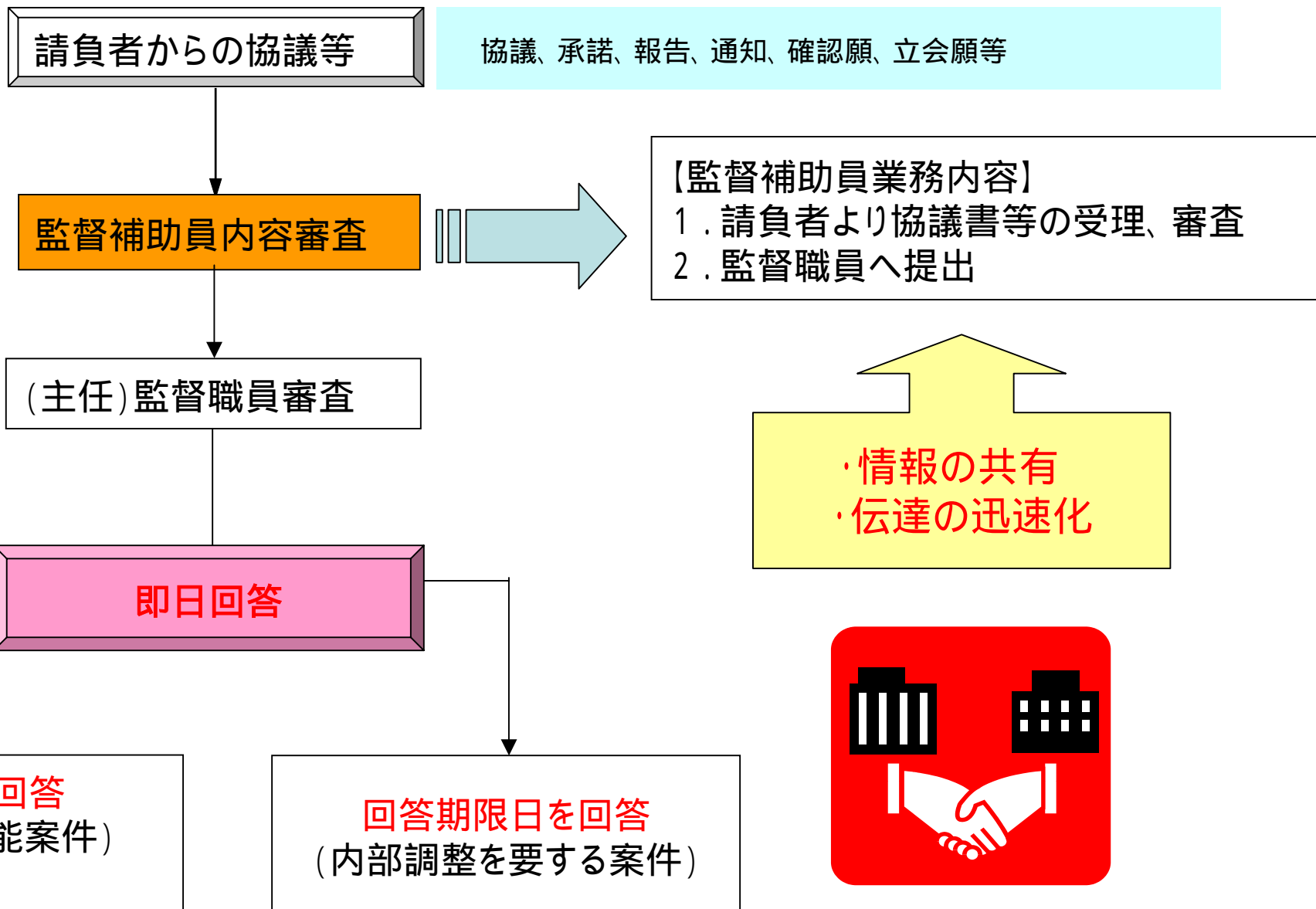
共通認識の為に
地場業界との

日常での情報交換において

事務所(又は各県)単位での意見交換を開催

- ・地場業界との課題等の共通認識、及び対策
- ・事務所幹部と業界各幹部クラスでの意見交換(1回以上/年)

ワンデーレスポンスにおける九州地方整備局の取り組み（案）



具体的取り組みと期待される効果

【抽出にあたっての留意事項】

1. 各事務所2件以上実施
2. 予定価格1～3億円程度の土木工事を対象
3. 施工条件が整っており、工事内容が複雑でないもの
4. 効果把握のため平成19年度内完成工事とする



期待される効果

1. 工期短縮に伴う効率的な施工の実現（早期供用による効果実現）
 2. コミュニケーション向上、技術力の伝承
 3. 現場の問題点や進捗状況等の情報の共有化
 4. 現場トラブル拡大の防止
 5. 工期短縮に伴う現場周辺への影響の減少
 6. 企業の経営環境の改善 等
- } (報告、連絡、相談の実行とOJTの実践)
- } (地域への情報提供による信頼関係の確立)